令和8年度上半期 財政状況

（9月30日現在）
問財務課（☎62-1006） ID1017741

市では税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。
※市HPに用語に関する解説を掲載しています。
※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。

市税の負担状況

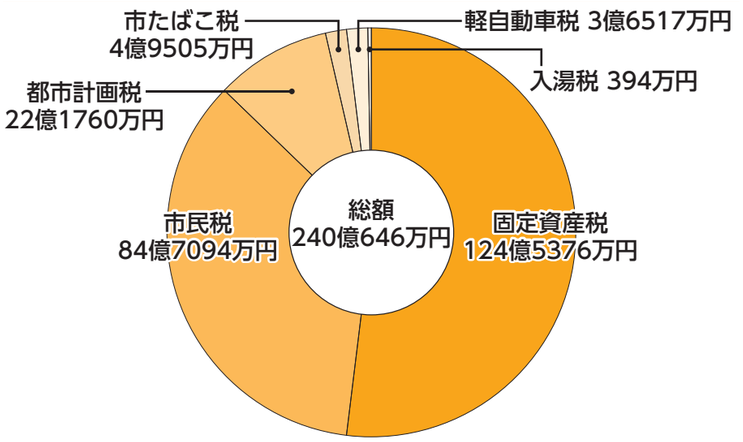
1人当たり
156,700円

1世帯当たり
337,037円

基礎数値

人口	153,200人
世帯数	71,228世帯

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	6億2391万円
民生債	15億465万円
衛生債	1億8369万円
土木債	22億9778万円
公営住宅債	1億8209万円
教育債	62億4801万円
その他	2億1447万円
計	112億5460万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	44億2920万円
下水道事業	132億5112万円
計	176億8032万円

健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の7年度決算に基づく状況をお知らせします。

◆健全化判断比率 （単位：%）

指標名	刈谷市	早期健全化基準*5
実質赤字比率*1	−	11.33
連結実質赤字比率*2	−	16.33
実質公債費比率*3	△0.4	25.0
将来負担比率*4	−	350.0

◆資金不足比率*6 （単位：%）

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準*7
水道事業会計	−	20.0
下水道事業会計	−	
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	−	
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	−	

*1…一般会計などが黒字か赤字かを示す指標
*2…全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
*3…一般会計などが負担する公債費の比率を示す指標
*4…一般会計などが将来負担すべき負債の比率を示す指標
*5…財政健全化への取組が必要となる基準値
*6…企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
*7…財政健全化への取組が必要となる基準値

- 表中の「−」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています。
- 表中の「△0.4」は、返済に対して、返済に充てる財源の額が上回っているため、マイナスとなっています。

総評…全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

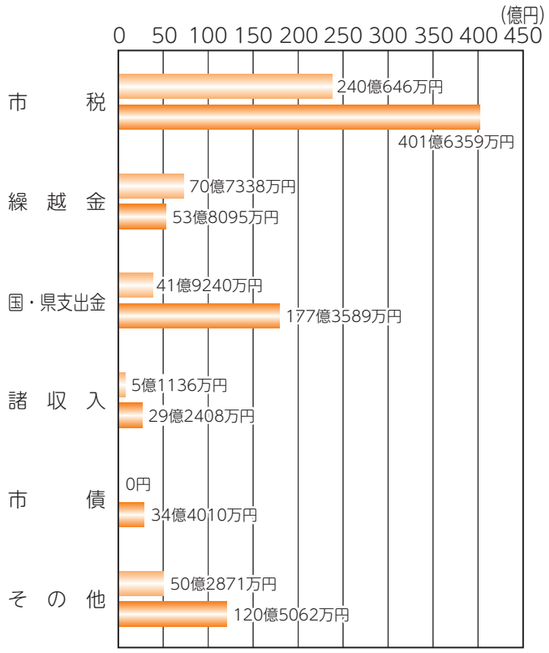
一般会計予算執行状況

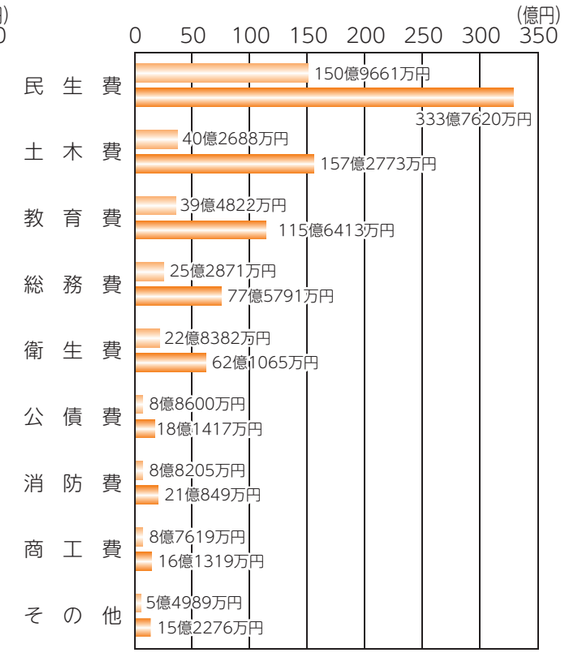
◆一般会計（歳入）

収入済額 408億1231万円
予算現額 816億9523万円
収入率 50.0%

◆一般会計（歳出）

支出済額 310億7837万円
予算現額 816億9523万円
執行率 38.0%





特別会計・企業会計予算執行状況

◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	6億889万円	6億3649万円	104.5%	1237万円	2.0%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億620万円	1億8200万円	171.4%	1333万円	12.6%
国民健康保険	118億1424万円	49億1069万円	41.6%	43億7880万円	37.1%
後期高齢者医療	29億8818万円	9億9759万円	33.4%	6億1897万円	20.7%
介護保険	110億8559万円	54億836万円	48.8%	43億5515万円	39.3%

◆企業会計

区分			予算現額	執行額	執行率
水道事業	収益的	収入	36億538万円	15億7190万円	43.6%
		支出	33億787万円	9億1268万円	27.6%
	資本的	収入	9億4452万円	4110万円	4.4%
		支出	23億2930万円	1億3581万円	5.8%
下水道事業	収益的	収入	36億8697万円	11億4070万円	30.9%
		支出	38億797万円	6億4614万円	17.0%
	資本的	収入	37億5308万円	8億6296万円	23.0%
		支出	48億2539万円	30億1166万円	62.4%

市有財産の状況

土地	建物	基金
3,473,544.89㎡	571,178.19㎡	252億4153万円

ID 7桁の番号を市HPトップページ「ページID検索」に入力し、詳細をご覧ください。